

もしもし社協の安心コールです！
お元気ですか？



- P2・P3 ・新型コロナウイルス感染症に負けないぞ！！
こんな時だからこそ！助け合いみ~つけた！
- P4 ・安心コールってなに？
・生活福祉資金の緊急貸付をご利用ください
- P5 ・ボラ連加盟団体の紹介
- P6 ・きらきらっと！
・台風災害
～春一番 災害の痛みと希望～
- P7 ・共同募金紙面贈呈式

「電話、楽しみに待っていましたよ」
「久しぶりでしたね、お元気でしたか？」
お顔は見えませんが笑顔を想像しながら、話も弾み気持ちもつながります。

安心コールは民生児童委員を経験された女性の皆さんにより、電話でコミュニケーションを図るサービスです。世間話をしたり、「そーだね」と共感をしたり冗談を言って笑ったり。

【話す】ってほんと、スッキリしますね！
〔安心コールについてはP4をご覧ください。〕

2020 **6**

新型コロナウイルス感染症に負けないぞ！！

こんな時だからこそ！

助け合い～つけた！

次亜塩素酸水を

配布しました〜！

須坂青年会議所は、5月4日とその後の毎週日曜日、(株)信東産業に協力いただき、除菌効果のある次亜塩素酸水の配布を行いました。

5月17日、朝9時から「次亜塩素酸水」をドライブスルー方式で配布を始めると、次から次へと車がやってきて、この日だけで150人分の配布を行いました。



新型コロナウイルス感染症の影響でアルコール消毒液等が品不足となっており、地域のために、いまできることを、次亜塩

容器に、次亜塩素酸水をいっぱい注いでもらった男性は、「孫が家に来るのでドアノブ等の除菌に使っています。大変ありがたいです」とのこと。また「お世話になっているお隣さんにもわけてあげたい」と多めに持ち帰る方もみられました。

同会議所の佐藤理事長から「新型コロナウイルス感染症との戦いはまだしばらく続きそうですね。自分自

身の健康を守り、他人を思いやり、そしてみんなで地域を守りましょう！ポジティブな気持ちを忘れず頑張りましょう」とお話がありました。



須坂青年会議所 (須坂JC)とは

1968年に設立され、須坂市のみならず須高全域(須坂市・小布施町・高山村)を活動のエリアとし、明るく豊かな須高地域を作ることが目的としています。地域のリーダーを育成する団体、そして知り合いを



増やすなどの交流を目的として活動しています。

構成メンバーは他業種にわたり、まさに異業種交流団体としての機能をいかんなく発揮しています。設立以来、須坂JCは地域振興や青少年の健全育成のための活動を続けてきました。

いろいろな活動を通じて、地域・組織の指導者のためのトレーニングを積み、明るい豊かな地域づくりのために日々邁進しています。

そして、日々の生活では感じる事が出来ない感動や情熱を感じさせてくれるチーム(会)です。

相談



中町のBさん

どこの温泉も休館になってお風呂に困っている人いるんじゃないかしら？うちの離れのお風呂でよかったら使ってもらってもいいわ。



社協職員

Aさんに、Bさんのお風呂を紹介してみましょう！

相談



南原町のAさん

コロナウイルスの感染症拡大防止で、いつも行っているお風呂が使えない。どこかやっているお風呂ないかな？社協に相談してみよう。

車の免許も返納していたので、お風呂に入れて本当によかった(*^。^*)

お風呂でさっぱり！

父の同級生に会って、昔の話もできてよかった。お風呂でこんなに喜んでもらえてうれしいわ(^ω^)

献血でつなごう！



5月13日に旭ヶ丘町公会堂で、14日に須崎市保健センターで献血がありました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、自粛生活が続いていましたが、当日は予想よりもはるかに多くの方が来所されました。「正直迷っていたけど…血液が足りない」と聞いて献血に来ました」と来所された方。今回、生まれて初めて献血を行われた方。高校生や大学生のお子さんとの親子連れで参加された方など。ご協力ありがとうございました。

今後も新型コロナウイルス感染症の影響で血液不足が心配されます。どうぞご協力をおねがいします。

おしゃべりですつきり！

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3つの密を避ける動きが続いています。そのため誰とも話すこともなく、不安とストレスが溜まる状況を解消する目的で、4月16日から平日午前限定で、「こころちゃんおしゃべり電話」を開設しています。

これまでに、市内、市外の地域の皆さまからたくさんのお電話をいただきました。

お話の内容は「入院している家族が心配」「家で一人でもテレビを見ていても話す人もなく何も面白くない」「自粛生活になってつまらない」「ストレスが溜まる」などなど。

おしゃべりを通じて、外出自粛によるストレスを少しでも解消できたでしょうか。

これからも社協では、その時にできること、助け合いを考え取り組んでいきます。



つなぐん こころちゃん

「こころちゃんおしゃべり電話」は6月中も開設します。どうぞご利用ください！

電話番号
026(248)5606
(こころちゃん
おしゃべり電話専用)

安心コールってなに？

安心コールはひとり暮らしの高齢者が、ボランティアさんと定期的に電話でコミュニケーションを図ることにより、孤独感の解消や安否確認により、安心して自分のまちで暮らせるお手伝いのひとつです。

A 60名くらいです。

Q いつでも申し込みはできるの？

A はい、いつでも申し込みできます。

Q 電話をかけてくるのはだれ？

A 民生児童委員を経験された女性の皆さんで組織されるボランティアグループです。

Q どれくらいの頻度で電話をしてくれるの？

A 週に一度（火曜日か木曜日）です。

Q 安心コールを利用して
いる人はどれくらい
いるの？



昨年の利用者会の様子

申し込み先は
須坂市社会福祉協議会
(026)214-2994
です。

電話でお話するだけでなく、ボランティアさんと利用者さんが集う交流会もあります！どうぞ、安心コールをご利用くださいネ！

生活福祉資金の緊急貸付をご利用ください

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえ、貸付の対象世帯を低所得世帯等以外に拡大し、休業等により生活資金でお悩みの方に向けた緊急小口資金等の特例貸付けを実施しています。

(7月末まで)

◎緊急小口資金

■対象者：新型コロナウイルスの影響を受け、休業等による収入減少があり、緊急かつ一時的な生計維持のための貸付けを必要とする世帯

■貸付上限額：10万円以内

ただし、世帯員に新型コロナウイルス感染症の罹患者等、要介護者、臨時休業した学校に通う子供がいる時等は20万円以内

■据置期間：貸付けの日から1年以内

■償還期間：据置期間経過後2年以内

■利子・保証人：無利子・保証人不要

◎総合支援資金〈生活支援費〉

■対象者：新型コロナウイルスの影響を受け、収入の減少や失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難となっている世帯

■貸付上限額：(単身世帯) 月15万円以内、(複数世帯) 月20万円以内 ともに貸付期間は原則3月以内

●相談例・・・店の客が減ってしまい収入も減ってしまった。

雇用日数が減って出勤できず生活が不安定になった。

問い合わせ：まいさぼ須坂（須坂ショッピングセンター内） 026-248-9977

令和2年度 須坂市ボランティア連絡協議会加盟団体の紹介

須坂市ボランティア連絡協議会（通称：ボラ連）は、『共に生きる福祉の地域づくり』に賛同するボランティア団体・個人・当事者・福祉施設・学校等で組織され、現在68団体が加盟しています。



(社福) すこふ福祉会 ワークハウスわらしべ

※ 施設の紹介

障がいのある仲間たちが、それぞれの持てる力を発揮し「豆腐製造」「印刷」「軽作業」を行っています。また、入浴設備があり、障がいがあっても安心して入浴できる支援を行っています。資源回収では、段ボール、古紙、アルミ缶の回収を行い、随時受付をしています。

※ 自主製品の紹介

『長者豆腐』は、“信州大豆100%”とにがりで作る手造り木綿豆腐です。昔懐かしい香りのコクと弾力がある美味しい豆腐です。そのほか、『布ぞうり』『ヘアアクセサリー』や皆さんからの要望で肌に優しい『手作りガーゼマスク』も販売しています。常に品質向上を目指し、心を込めて製造、制作をしています。※商品の購入希望の方は、事前にお問合せください。

※ 問い合わせ先

住所：須坂市大字小河原1234-1
電話：026-248-5678
E-mail：sukofuku@mx2.avis.ne.jp
施設長：神田幸江



長者豆腐一丁250円



ガーゼマスク1枚300円



(社福) 育護会 須坂技術学園

※ 施設の紹介

明徳山のふもと、自然豊かな環境の中に「須坂技術学園」があります。個性豊かな利用者さんお一人おひとりに向き合い、住み慣れた地域の中で自分らしく働くこと、生活していくことで喜びある日常を送って行くことができるよう支援しています。

※ 自主製品の紹介

『手作りパン』は、出来立ての“なま生地”を用い、食パン・惣菜パン・おやつパンを毎日焼いています。添加物を極力抑えているため消費期限は短いですが、やさしくおいしいパンに仕上がっています。『焼き菓子』は、クッキー・パウンドケーキ・ラスクなど…お客様のご希望に沿ったギフトセットもご用意できます。

【手作りパン・焼き菓子の販売先】

・長野県農業試験場（小河原町）	第1・3火曜日	12：00～12：20
・須坂市社協（春木町）	第1・2・3火曜日	12：00～12：20
・大丸薬局（本上町）	第1・2・3火曜日	12：30～12：40
・須高広域シルバー人材センター（馬場町）	第1・3木曜日	12：00～12：20



※ 問い合わせ先

住所：須坂市大字八町2368
電話：026-246-2409
E-mail：gijyutsugakuen@stvnnet.home.ne.jp
施設長：森近和幸



キラキラ☆と!



竹内雅人さん
ハンディキャップがあってもオシャレは出来る!人生一度きりだから!

ハンディキャップがある…
そういうことを含めて今の僕がいる

34歳の竹内雅人さんは、生まれた時からハンディキャップがあり、腰から下がうまく動きません。自宅では、何とか自分で出来る事も、出かけた時は人の手を借りなければなりません。そのことで辛い思いをしたこともありました。

竹内さん、今頑張っていることがあります。それは、仕事です。仕事内容は、パソコン入力と新型コロナウイルス感染症拡大防止に必要なマスクのひも通し。「ハンディキャップで、出来ない事があるのは当たり前。工夫したり、助けてもらったりする事で困難を乗り越えられます。人との関わりが苦手なところもありますが、どんな経験を積んで前向きに積極的になっていきたいです」と竹内さん。続けて「ハンディキャップが無ければ…好きな事が出来たかもしれません。ですが、ハンディキャップがあるからこそ、周りの人に助けてもらったり、手伝ってもらったり…。ありがたみを感じています。そういうことを含めて今の僕がいます」と話されました。

台風災害

春一番
災害の痛みと希望

昨年、10月13日に台風19号災害が発生。7カ月が経ちました。浸水被害が大きかった豊洲地区の田中さんは災害当日から今日までを振り返りました。先月号から引き続きご紹介します。

災害で浸水した冷蔵庫・風呂釜・暖房機等、家具、タンス等の生活必需品だけでも新たに購入するなどの費用を考えると、さらに家屋の修繕、気が遠くなり頭の中は走馬灯のごとくぐるぐる廻るばかりでした…。土地を売却し公営住宅でひっそりと余生を過ごすことも有りかと思ったり…しかし水害に遭ったこの土地を買う人はいるのだろうか…頭のなかはぐるぐる廻りまた戻り、そして再び廻る

の繰り返し。つつましく細々と生きていくしかないのだろうか…。苦悩は続く…。

しかし千曲川対岸、長野市穂保の農家の人達が家を失い、生計の糧を失ってもなお立ち上がるうとしていく姿を新聞等で見聞きするにつけ、自分のことばかりくちくち考え、行ったり戻ったりしているいかにも小さい自分が情けなくも思える。災害はいつでもどこでも起こり得る時代となっ

てしまっているのか。想定外ということは無いこれからの時代…。被災に直面した時の失望と惨めは筆舌に尽きませんが、あの直後ボランティアの皆さんが遠くは石川県、愛知県から、千曲市そして市内からも(聞くに諸費用自己負担で)都合6日間、我が家や近隣に泥出し、家具類や畳の搬出にと多くの方が手を差し伸べて下さり、泥だらけになって汗を流して下さいました。この事実を見るにつけ、自らの被害者感念は根底から打ち消された思いでした。

11月、妻と2人再建(修復)することを決め動き出すことが出来ました。今思うに、あの勇気と決断はボランティアさん達の姿からであり、ある意味自分の務めなのだと思えたのかも思えません。明かりが見えてきました。「他人のために無償で力を尽くす」なかなか出来ることではありません。ボランティアの皆さん、心から感謝します。本当にありがとうございます。

また戻り、そして再び廻る



共同募金紙面贈呈式

須坂市共同募金委員会
は、昨年大口でご寄附い
ただいた方々へ感謝状を、
赤い羽根共同募金を財源
とした避難所備品助成金
等が決定した各町に目録
を贈呈しました。
今回は個別に贈呈式を
行いました。
感謝状贈呈

◆県知事表彰
富士通



コンポーネント(株)様

★吉田総務課長より

私たちは廊下に2台寄
付ができる自動販売機を
設置しその設置売上等を
寄付しています。これか
ら取り組んでいきます。

◆県共同募金会長表彰
須坂市役所職員一同様



★上原総務部長様より

各課に募金箱を回して
募金活動をしています。



オリオン機械(株)

工友会様

★田村工友会長様より

職員の親睦会が各職場
に募金箱を回して毎年募
金活動をしています。

須坂市連合婦人会様



★竹前会長様より

会員が地域のために募
金に協力しています。



小林より子様

★小林より子様より

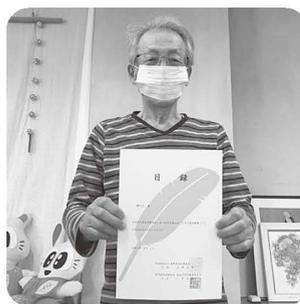
家族で空き瓶に集めた
お金を募金しました。大
切に使ってください。

目録贈呈

集められた募金は各町
の防災備品等の購入費と
して助成されています。

◆安心安全なまちづくり
活動公募配分事業

横町区20万円助成決定
避難所用発電機・投光器



横町小坂区長様



東横町区20万円助成決定
避難所用発電機・投光器



東横町駒村区長様

八重森町区20万円助成決定
避難所用薪焚温水器



八重森町佐々木区長様

井上町区19万6千円助成決定
救命物品用AED



井上町藤澤区長様

◆地域生活支援公募配分
事業

小山町区5万円助成決定
小山町敬老を祝う会



小山町新井区長様

